



Be Innovative!

Collaboration beyond Differences

ソーシャル・イノベーション(SI)コース

文部科学省「大学の世界展開力強化事業～COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援～」選定事業

Action!

国際協働演習

社会課題をコンテキストと共に発見し、多文化・異文化、社会と自然などに関する知識を深め、論理と気づきにより解決する能力を養います。同じテーマを海外の学生と協働しながら考えることで、日本の事情を海外の人に説明する力、海外の事情についてアクティブに聴く力が身につきます。

どんな授業？

ICT(情報通信技術)を活用したCOIL型の演習授業です。海外のパートナー校の学生と4名程度の少人数のグループを作り、それぞれのテーマについて一緒に調査、分析、考察し、SNSなどを活用して継続的に授業を進めます。テレビ会議システムを使ったリアルタイムの接続授業を実施します。



ソーシャル・イノベーター3

Adventure!

SIGLOC

“英語で考える”2週間で英語力もアップ!

SIGLOCは、Socially Innovative Global Classroomの略称です。約2週間のSIGLOCを年に数回実施します。海外学生との混成グループ(3~5名程度)でフィールド・リサーチやディスカッションを行い、ソーシャル・イノベーターとして実地経験を積みます。国内研修・米国研修・オンライン研修ともプログラム構成は共通です。



海外学生のレベルが高い!

持続可能な社会の在り方を学んだ!



海外の学生と共に学ぶために必要な科目

“体系化された知識”を学ぶ科目群

あなた自身が海外の学生にとって共に学ぶだけの魅力を持つためには、日本の大学生として何らかの専門性を持つことが必要です。日本の社会や自分の問題意識について、自信をもって海外の学生に説明できる力を身につけるための科目群です。

“スキル”を習得する科目群

海外の学生と協働するためには、グローバルに通用するアカデミックスキルが必要です。日本語で伝えたい内容を、的確に明快に伝えるためにどのように英語で表現すればいいのか、ライティングやスピーキングのスキルを習得するための演習です。



シオン(SI)コースの の柱

基礎調査

- 1 ● テーマに関する基礎知識(社会制度や歴史、経緯)を得る
● その分野について海外の学生と討論し国際比較をする

フィールド・リサーチ1

- 2 ● 現場にアクセスし知識を経験に変える
● 海外の学生と共に現場を観察し課題を探る

情報分析

- 3 ● 海外の学生と気づきを共有し、意見を交換して課題を発見する
● 課題解決に向けた仮説を提案しその検証方法を考える

フィールド・リサーチ2

- 4 ● 仮説の検証を試み、必要に応じて修正を行う
● 現場スタッフに課題解決を提案しフィードバックをもらう
● フィールド・リサーチ先からフィードバックをもらう

まとめと報告

- 5 ● Social Innovation(SI)レポートの作成
● これまでの学習、経験、考察をグループで協議をしてまとめる
● 異なる視点を比較し、読者にも共通理解を得られるレポートを完成する

国内研修でも英語漬けの毎日!

一生モノの友情ができた!



ソーシャル・イノベーション(SI)コースとは？

ソーシャル・イノベーション (Social Innovation) とは、新しい商品やサービス、制度によって社会課題を解決する事をいいます。SIコースは、海外の学生とのコラボレーションを通して三つのチカラを養います。将来、行政やNPO、企業等でソーシャル・イノベーションを担う人、グローバルな社会やローカルな現場で主体的に課題発見・解決に取り組む人を育成します。



発見するチカラ

海外の学生と共に、社会問題とその歴史や文化、背景を考察する経験から、問題の本質を発見する力を養います。



創造するチカラ

解決するためのコンテキストを創造し、それを実現する新しい商品やサービス、制度を生み出す力を養います。



実現するチカラ

行政、NPO、企業、地域住民など様々な立場の人の垣根を越えた協働を実現し問題を解決する力を養います。

コースの履修について



全学年が対象

SIコースは、どの学部でも何年生からでも履修・修了することができます。計画的に履修しよう！



事前の登録不要

副専攻とは違い認定のために指定された科目を履修していれば、いつからでもコース修了を目指すことができます。



一部の履修も可能

コース修了認定はされませんが、国際協働演習、SIGLOCなどは自由に履修・参加することができます。

修了認定を受けるには

ソーシャル・イノベーション (SI) コース修了の認定を受けるには、下記の4つの条件をすべて満たす必要があります。学期ごとに決められた認定申請期間内に、各自で所定の申請手続きを行ってください。

1

「体系化された知識」を学ぶ科目群から**5科目の単位**を取得し、さらに「ソーシャル・イノベーション入門」の単位を取得する。

2

SIGLOC (ソーシャル・イノベーション研修)を修了する。

3

「**国際協働演習**」の単位を取得する。

4

「スキル」を習得する科目群から**4科目の単位**を取得する。

大学生活への向き合い方がはっきりした！

世界が少しだけちいさくなった！



2021年の主なコンテンツ

1 SIGLOC(予定)

●2021年7月5~17日(オンライン)

●2021年9月13~24日(研修地:日本)

●2021年8月15~27日(研修地:米国)

●2022年3月10~23日(研修地:日本)

※日程や研修地、実施方法は、状況に応じて変更する場合があります。

2 留学生受入コース NEW!

2021年度から、約4か月間の留学生受け入れコースが開始します。8月下旬から12月中旬に本学への留学生(2名)と一緒に英語で学ぶことができます。

前期開講科目 全て集中講座, 前期の履修登録が必要	後期開講科目 後期の履修登録が必要
ソーシャル・イノベーション入門* (集中講座, 8月~9月)	Practicum: Social Innovation for Global Citizen (木4)
SIGLOC-JP* (集中講座, 9月)	Introduction to Japanese Culture (月2)
Field Research* (集中講座, 9月)	Japanese Studies: Language and Society (水3)
	国際協働演習* (3講座開講: 水1, 水4, 木1)

※「*」の科目はSIコース終了認定に必要な科目になっています。

3 国際協働演習(後期)

協働先大学とテーマがそれぞれ異なる3つの講座が開講されます。いずれか1つを選んで履修登録してください。

水曜1限	水曜4限	木曜1限
パートナー校 マリアン大学 (米国・ウィスコンシン州)	パートナー校 ザンビアの大学と協働予定	パートナー校 アンドリュース大学 (米国・ミシガン州)
講座テーマ 日米に共通する社会制度や文化的な問題について比較し、異文化と自文化に対する理解を深める。	講座テーマ 日本とアフリカの教育課題とその背景を比較する。	講座テーマ 子どもに関わる社会課題を考える。

お問い合わせは
COIL推進室へ!



よくある質問

Q 他の副専攻と一緒に履修できますか？

できます。あなた自身で適切に時間割を組んでください。

Q 大学院生もコース履修できますか？

SI研修には参加できますが、SIコースの科目の履修やコース修了認定はできません。

Q SI研修に参加するには、どれぐらいの英語力が必要ですか？

2週間、海外の学生と英語だけでコミュニケーションします。実践的な英語力が必要です。

Q SI研修の費用はいくらぐらいかかりますか？

開催地までの航空運賃実費と研修期間中の宿泊費、食費のほか、3万円程度の研修実費が必要です。
奨学金が支給される場合もあります。

オンラインによる研修の場合は、上記の費用は掛かりませんが、接続に関する諸経費が必要です。

COILとは？



Collaborative Online International Learning

ICTを駆使した海外学生との地球規模のコミュニケーションにより、新しい観点や知識とより深い学びを得る教育方法です。自分の頭で考え自らが行動する、といった社会で活躍するために必須のチカラが身につきます。全学共通教育と専門教育で取り入れています。大阪市立大学は、日本におけるCOIL型教育をリードする大学のひとつです。

大阪市立大学 COIL推進室

☎ 06-6605-2249

✉ coil-jimu@ado.osaka-cu.ac.jp

公式サイト



YouTube



Twitter



お問い合わせ



2021年2月改訂